**会 議 記 録**

|  |  |
| --- | --- |
| **令和２年度　版画学会　第一回運営委員会・夏季総会** | |
| 日　時 | 令和２年６月２７日（土）　１４：００〜１７：００ |
| 会　場 | 遠隔会議 |
| 出席者 | 生嶋順理会長 倉地比沙支副会長　平木美鶴事務局長　 事務局 清水博文 日下部一司 森本玄　 運営委員:古谷博子 清水美三子 濱田弘明 吉岡俊直 中村桂子 高垣秀光 池垣禎彦 高浜利也 若月公平 遠藤竜太　三井田誠一郎　於保政昭　都築千重子　田島直樹　平垣内清　笹井祐子　野口玲一　 会 員　清水　雄（上田市立美術館）小笠原正（上田市立美術館）　阿部大介　佐竹宏樹  オブザーバー　町田市立国際版画美術館（滝沢恭司　藤村拓也）  ※会員総数 383名(半数 192名)、出席26名に委任状 169名 を加えて195名となり過半数で総会成立要件を満たした。 |
| **［審議・報告事項］**  令和２年度　版画学会第一回運営員会・夏季総会において以下の事案が審議了承された。   1. 会長挨拶（生嶋順理会長） 2. 学会事務局（平木美鶴事務局長）   2-1 新入、移動、退会、除名、賛助会員、名誉会員の動向  　　事務局長より会員動向について説明がなされ以下の通り了承された  　　入会希望：０名　　所属先変更：０名　　退会希望：9名　　逝去：０名　　住所不明：３名  大学名称変更：１件　　住所変更：７名　　名誉会員：０名  　 2-2 令和２年度決算報告 (京都芸術大学森本玄、大阪芸術大学日下部一司)  森本玄先生から報告があり了承された  2-3 令和２年度補正予算計画（徳島大学）  平木より説明があり,本年度縮小案に伴う補正予算が了承された   1. 展覧会実行委員会   3-1 全国大学版画展部門（多摩美術大学）  第4４回展報告が古谷博子先生よりあった  3-2 全国大学版画展部門　第45回展開催計画（女子美術大学）  ◯ 第45回展計画では新型コロナウイルス感染症対策による縮小開催について清水美三子先生より説明があり了承された。  生嶋会長より開催に至る経緯の補足説明があった。（学生の意欲や楽しみにしている観客の事を考えて、安全を確保して開催したい。）コロナの状況によっては中止の判断もあると思うがその判断のラインを教えて欲しいと言う質問があった。会長より町田市立国際版画美術館で感染対策をとっているがその判断と同じ歩調をとりたいと言う説明があった。学芸員の滝沢氏より現在の町田市の様々な企画に対する考え方は企画は進めなさい、ダメな時はその時に考えるであると言う参考意見をもらった。  縮小開催の（案）   1. 出品点数に関する変更点・・・・出品点数を例年の４割程度（１００点弱）とする。 2. 賞・イベントに関する変更点・・優秀賞は原案の１８点から３０点を上限に変更。学生作品販売、レセプション、ワークショップ、セミナーのイベントは中止する。 3. 搬入・搬出に関する注意点・・・可能な限り宅急便を使う。その他の方法を模索する。 4. 会期中の観覧に関する注意点・・美術館のガイドラインに従う。   検討事項として以下を考えているがVR撮影費の具体的な提案があり了承した。   1. 会期中の受付・監視・・・学生の安全確保者含めて業務委託の検討 2. 優秀賞の投票方法・・・・審査は会場で作品を見るまたはweb上で見て、どちらもweb上で投票を行う。 3. イベントの検討・・・・・広報と臨時休館の場合を考えてオンラインでできる事を考えたい。会場風景をwebで見ることができるV R、受賞者のトークイベントをライブ配信、オンラインイベント   　 3-3 学生作品販売部門第44回展報告（女子美術大学）  　 第44回展報告の説明が清水美三子先生よりあった。  　 3-4 学生作品販売部門第45回展開催計画 （筑波大学）  　　　第45回展では学生作品販売を中止する事の説明が田島直樹先生よりあった。また作品収集の管轄を関東ブロックとそれ以外のブロックとした。関東以外のブロックは「北海道・東北ブロック」「九州・沖縄ブロック」「関西ブロック」「中部・北陸ブロック」でローテーションして受け持つ事が了承された。  ４、学術研究委員会  　 4-1 版画学会誌編集部門49号計画  遠藤竜太先生より説明があり了承された。  ○前年度までの「大学版画展のころ」特集から「プリント・イノベーション」を新たな特集とする。本年度予算も含め了承された   1. 全国大学版画展歴代受賞作品のデジタルアーカイブ化について   2020年度の事業報告として中村桂子先生より説明があった。  ◯ 歴代受賞全作品の撮影データーと実作を照合して具体的な作品データーを作成するための計画と人件費等の予算案302,400円を了承した。またデーター入力の作業費は常葉大学の共同研究費申請が決まり、版画学会との共同研究となる報告があった。   1. 版画の行方展について   町田市立国際版画美術館の滝沢氏より修正案の説明があった。それを受けて高浜利也先生からリスクを考えて今回は中止にした方が良いとの提案があった。生嶋会長より、美術館の改修を終えた後に実現した方が良いのではと言う意見があった。結果、2021年開催予定であった「版画の行方展」は中止とした。   1. 令和3年度町田市立国際版画美術館改修に伴う新規全国大学版画展2021の経緯報告と提案   倉地　久先生より上田市立美術館での2021年からの開催計画の説明があり、了承した。  ８、2020年度学会組織について（次期会長、事務局長、運営委員の改選）  　　次期、版画学会事務局長は、愛知県立芸術大学の井出創太郎先生に決定した事が了承された。  　　平木より次期会長、副会長、運営委員の本年度改選スケジュールの説明があった。  ９、その他  なし  以上 | |